

# 令和8年1月定例舞鶴市教育委員会会議録

開会日時 令和8年1月21日（水） 午後2時00分～午後2時37分

場 所 市役所別館 4 1 3 会議室

出席委員 廣瀬教育長 稗田委員 田中委員 小川委員 相澤委員 吉岡委員

事務局職員 山下指導理事  
松岡教育振興部長  
後教育未来課長  
日下部学校教育課長  
守屋学校教育課指導担当課長  
水嶋学校教育課主幹  
森生涯学習部次長兼生涯学習推進課長  
南教育総務課長  
川北教育総務課総務係長

傍 聴 1名

## 1 開 会

教育長 開会を宣告

## 2 令和7年12月定例教育委員会会議録 承認

教育長 会議録を会議に諮り、全員承認

## 3 諸報告

### (1) 教育長報告

事務局から教育長の主な活動を報告

[質問・意見]

なし

### (2) 各課報告

(教育未来課)

- ① まいかつについて（まいかつ体験、まいかつ文化祭、まいかつ認定団体募集、まいかつ団体パンフレット）

(教育総務課)

- ① 行事予定について
- ② 寄附の受納について（令和7年12月）
- ③ 後援の承認について（令和7年12月）

(学校教育課)

- ① 行事予定について
- ② 教育支援センター「明日葉」・「いじめ相談室」の12月の通級・相談等の状況について
- ③ 令和7年度いじめの未然防止・早期発見に向けた子どものアンケート調査（2回目）について

(生涯学習推進課)

- ① 行事予定について

[質問・意見]

(稗田委員)

「まいかつ文化祭」に出席した。さまざまな展示や舞台発表があり、「まいかつ」において多種多様な活動が行われていることがわかった。学校の部活動にはない服飾やデジタルアート、ダンスなど分野が非常に豊富であり、スポーツと文化活動の両方に取り組んでいる生徒もいたり、文化に触れることで今後も続けてみたいという思いを抱く生徒がいたりするなど、この2ヶ月の実証実験は非常に有意義な機会であったと感じた。

また、受け皿となり支えてくださった方々は、「地域づくりの活性化に力を貸そう」、「生徒の学びのために1回やってみよう」、「文化継承の一つのきっかけになるかもしれない」など様々な思いがあったとは思いますが、地域スタッフの方々が舞鶴市には非常に多くいらっしゃることを感じ、感謝の思いを持っている。

多くの地域スタッフ・生徒と日程調整し、「文化祭」と銘打って大きな会場で開催できたことは、非常に良い機会だったと思っている。ここまで計画・準備いただいた関係者の方々に心より感謝を申し上げる。

今後は、「まいかつ」が中学生の保護者だけでなく、地域のみんが知っている親しみやすいものとして、さらに広がってほしい。小学生やその保護者にも来ていただければ、さらに良い発表の場になると感じた。来年度の2学期からの展開も期待する。

(相澤委員)

「令和7年度いじめの未然防止・早期発見に向けた子どものアンケート調査（2回目）について」ですが、本アンケートは基本的に「いじめを受けている」という立場にたった調査だが、実際には具体的に行った側は「加害」を意識していないけれど、受けた側が「いじめ」と捉えているものがあると思う。その辺りについては具体的にどのような対応をされているか。

(守屋学校教育課指導担当課長)

アンケート実施後に、そのアンケート用紙の記述をもとに各担当が1人1人と面談を行っている。指導が必要であると思われることに関しては、関係している児童生徒等からの聞き取りを行い、必要に応じ指導を行っている。

(相澤委員)

「加害」したとされる子どもたちの中には、実は支援を要するケースが多いのではないかと考えている。スクールカウンセラーや養護教諭と連携し、「いじめている」という視点だけではなく、いじめのような行為をしてしまう子どもたちへの丁寧な働きかけが大切になってくる。また、今回の学習指導要領の改訂で、「特別の教科 道徳」がいじめ対応も含めて導入された。学校の先生方がどのように取り組んでいくのかも大切になってくる。さらに「学校風土」が大切と言われるようになってきており、それを高めていくような働きかけや啓発が求められると思う。いじめている側は、意識してやっているかどうかかわからないが、何かしら満たされない思いやしんどさを感じている可能性があるのではないかと。そこを視野に入れつつ、働きかけていく

必要があると思う。

(稗田委員)

「令和7年度いじめの未然防止・早期発見に向けた子どものアンケート調査（2回目）について」に関わることとして、先日、舞鶴支援学校高等部の先生から、LINEやSNSを通してのトラブルについてお聞きする機会があった。高等部を卒業する生徒たちは、その後社会に出て就労をしていくことになる。SNS等でのトラブルについては、在学中は学校に相談でき大人が介入して解決することも可能だが、社会に出ると自分で責任を持っていかなければならないため、先生方は危機感を持っておられた。今回のアンケートの設問「困ったことの内容・件数」における「⑧パソコンや携帯電話・スマートフォンで、誹謗中傷や嫌なことをされる」の件数が、小中学校ともに少ない印象を受けた。アンケートには出てこない部分があるのではないか。このあたりどのように分析・認識されているか教えてほしい。

(守屋学校教育課指導担当課長)

委員のご指摘のとおり、アンケート結果に表れていない事象が他にもあるのではないかと考えている。SNS等でのトラブルについては、このアンケート実施後にも対応してきているものもあり、多数の子どもたちが関わっていることもあった。舞鶴市では、「GIGAワークブックまいづる」を活用し、上手なつきあい方を念頭に置きながら指導したり、その都度指導していくことになると思う。しかし、アンケート結果にも見えてこない状況もあるため、教員はアンテナを高く張り、問題が発覚した際には状況に合わせて個別指導や全体指導を実施し対応している。

(稗田委員)

アンケートの数字になかったから「良し」ということではない。実は悩んでいる児童生徒がいるのではないかという視点を持って対応を続けていってほしい。

(廣瀬教育長)

現在、SNS上で暴力行為を行っている動画が拡散される状況が全国的に社会問題となっている。情報モラル教育の充実や、教員がアンテナを高く張るための手立てを講じていく必要がある。今後、国や府からの通知等も想定しており、それを踏まえて教育委員会としても取組を進めていかなければならないと考えている。SNSは見えない。いじめ事象として、アンケートの数字をそのまま信じていいのかという視点を忘れず、様々な手段を用いて気づくことが大切だと考える。

#### 4 その他

次回の定例教育委員会は、2月13日（金）午後1時30分から開催することを確認。

[質問・意見]

なし

#### 5 閉会

教育長 閉会を宣告